

男女がともにいきいきと

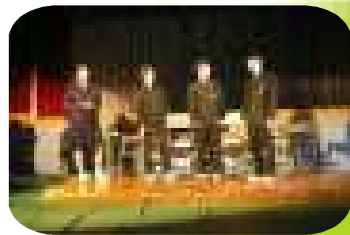
17年目の「みどりの林檎」を開催しました

2000年（平成12年）に始まった保護者や地域の皆さんとともに「命」や「生き方」について考える取組『命のフェスタ みどりの林檎』。今年のテーマは【人権】。私たちの身のまわりにある、いじめや偏見、差別につながる様々な問題について考えました。

10月17日には、人権学習の一環として、山陽学園大学の近藤卓教授をお迎えし「ありのままの自分～恋と愛の心理学～」と題して講演会を行いました。その他にも、各学年で学活・道徳の時間に事前学習として人権（特に男女のちがい）について学び、2学期の土曜授業日である10月29日の当日を迎えました。

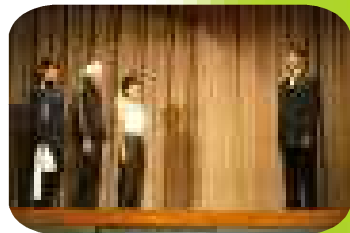


まず最初は、日々放課後の時間を利用して集まり、練習に練習を重ねていた生徒会と有志の生徒による前座劇。人権をテーマに「憲法を守り教科書無料配布の権利を取得する歴史」について、真剣に演じたその姿はとても素晴らしかったです。観ている生徒・保護者の皆さんも真剣な眼差しでその舞台を見つめていました。

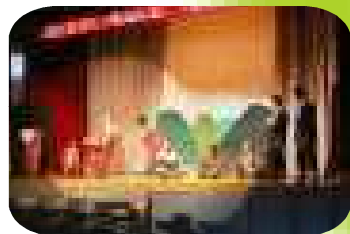


そして今年のメインは備前市の市民劇団「虹」の皆さんによる演劇。題目は『おらのおっかあ、どこいった』。

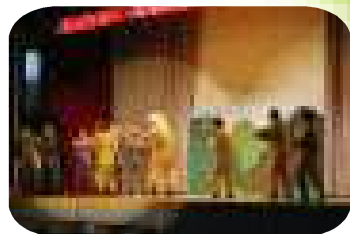
【狩りはするが、それ以外のときは酒のみ、おっかあのことを「おい」の一言で呼ぶなど、男たちが偉そうにして女ばかりに働かせている村がありました。ついにおっかあたちは堪忍袋の緒が切れ、みんなで村を出てしまいます。おっかあがいなくて何もできないことに気付いたおっとおたちは困り果ててしまいました。そこで、鬼の家族に男女平等の精神を教えてもらい、村を出てしまったおっかあたちに戻ってきてもらうため、家事を始めるおっとおたち。それからは男女みんなで協力して幸せに暮らしましたとさ。】



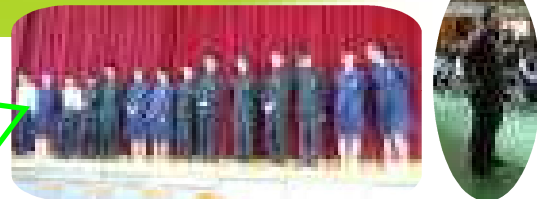
内容はとてもわかりやすく、こてこての岡山弁で歌や踊りを交えて演じる劇団の皆さんの姿に、観客の皆さんはすっかり心をつかまれていたようでした。劇の終盤、村人みんなが幸せになり、手を取り合っ歌って踊っての場面では、自然と客席から手拍子が起こり、ステージと客席がひとつになりました。



今年で17回目を迎えた「みどりの林檎」。毎年様々なテーマで行っていますが、その中心にあるのは「命を大切にすること」「思いやりを大切にすること」。これからもいろいろな学習や経験をとおして、その感性を少しずつ磨いて欲しいと思います。



素晴らしい舞台をみせてくれた生徒会の皆さんと監督・脚本の内田先生

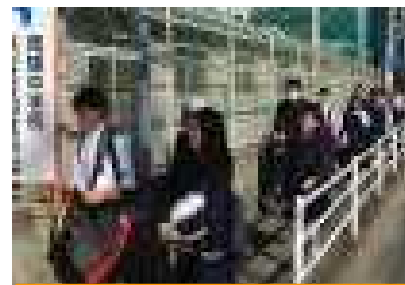


あなたはその時どうしましたか 岡山市で震度4の地震が発生しました

岡山、倉敷は震度4

ガタガタッという揺れとともに「緊急地震速報 大地震です」という緊急告知ラジオからのアナウンス…。10月21日午後2時07分、鳥取県中部を震源とする地震が発生し、岡山県南部でも震度4を記録しました。学校では5時間目の授業中。揺れを感じた後、あなたはどうしましたか？ 自分の身を守る行動ができましたか？

皆さんが下校した後、臨時の職員会議を開きました。今回、岡輝中学校内での被害はありませんでしたが、教職員の動きや指示で不備がなかったかどうかを再点検し、今後の災害時にいかに協力を進めようとした。今回の地震は、2000年10月に新見市などで震度5強の揺れがあった鳥取県西部地震以来、16年ぶりに震度4以上では、14年3月に伊予灘を震源とし、岡山市などで震度4を観測した地震以来だった。



改築工事のため、数クラスは一度校門から校外へ出て南門からグラウンドに避難しました

週が明けた24日(月)中間テスト後の放課後、皆さんには避難経路を確認することを目的とした臨時の避難訓練を行いました。

16年ぶり震度5強 岡山県内

鳥取県中部を震源とする21日の地震で、岡山県内では徳野町上赤原、真庭市蒜山下福田で震度5強を記録するなど各地で激しく揺れた。県内で震度5以上を観測されたのは、2000年10月に新見市などで震度5強の揺れがあった鳥取県西部地震以来、16年ぶり。震度4以上では、14年3月に伊予灘を震源とし、岡山市などで震度4を観測した地震以来だった。

岡山県内の震度5以上の地震は、気象庁のデータベースに記載された1923年以降では今回で4度目。このうち3度が山陰を震源としている。

今回の一連の地震で、気象庁は大地震を事前に知らせる「緊急地震速報」を原則で2度発表。午後2時7分ごろの地震では県内全域、同58分ごろの地震は県北部が対象だった。県内の速報発表は、誤報を除くと過去に2013年4月(震源・淡路島付近)に例がある。

今回の地震は皆さんが学校にいる時に発生しましたが、自宅にいる時だったら、一人の時だったら、街中だったら…。あなたは適切な行動がとれたでしょうか。万が一に備え、もう一度自分の身を守るために必要なことは何かを、家族とともに考えるよい機会にして欲しいと思います。

11月は児童虐待防止推進月間です オレンジリボンキャンペーンを知っていますか？

平成16年、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ込まれて亡くなるという痛ましい事件が起こりました。

この事件をきっかけに、「二度とこのような悲劇が起こらないように」との願いから、オレンジリボンキャンペーンは始まりました。

厚生労働省では、児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と定めており、民間・地方自治体・国が連携した児童虐待防止啓発活動（オレンジリボンキャンペーン）が全国的に広がっています。

岡山市では、平成19年度より地域の方々、企業や団体のご協力を得て地域ぐるみでオレンジリボンキャンペーンに取り組んでおり、今年度で10周年を迎えました。

★11月23日（祝）岡山ふれあいセンターでは、オレンジリボンフォーラムと題して、親子でふれあい、体験しながら学べる遊びや中西圭三トーク&ライブなどが開催されます。
 ○問合せ 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 ☎803-1223

子どもの虐待は家庭の中で起こるため発見が困難です。
 もし心配な様子や虐待に気づいたら、関係機関にご連絡ください。
 あなたからの連絡が子どもや家に支援の手が届くきっかけになります。

